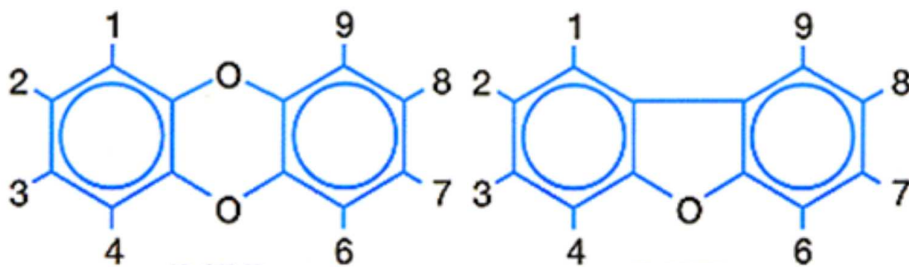




- 1 環境中（大気、河川などの水、底の泥、土壌及び地下水）に含まれるダイオキシン類を調査しています
- 2 工場の排ガスや排水などに含まれるダイオキシン類が、法律で定められた排出基準を超えていないか検査しています

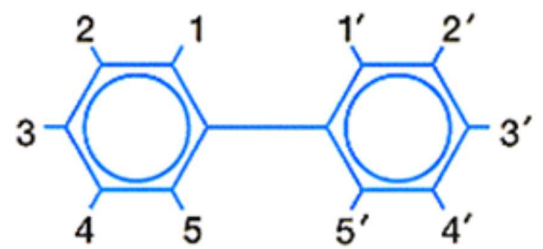
### ダイオキシン類とは・・・

下の3種類（PCDD、PCDF、コプラナーPCB）をまとめて**ダイオキシン類**と呼んでいます。ダイオキシン類は炭素、酸素、水素、塩素を含んだものを燃やしたときに出来てしまう物質です。「人工物質としては最も強い毒性を持つ物質」と呼ばれるほど**強い毒性**を持っていることが知られています。



ポリ塩化ジベンゾジオキシン (PCDD)

ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF)



コプラナーポリ塩化ビフェニル (コプラナーPCB)



### ダイオキシン類の分析のようす



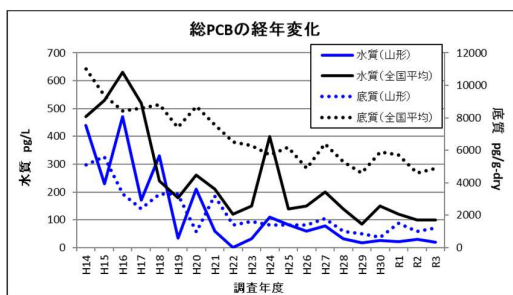


# 化学物質環境実態調査【環境省受託事業】

平成14年度から、最上川の河口の水と底の泥に含まれる多様な化学物質の調査をしています。平成28年度からは、環境科学研究センター屋上で大気の調査もしています。



調査結果は環境省HPでも閲覧できます  
「化学物質と環境」



# 放射性物質の測定



産業廃棄物や土壌に含まれる放射性物質の測定を、**ゲルマニウム半導体検出器**を使って行なっています。



空間放射線量を、**モニタリングポスト**で県内6地点（山形市、米沢市、新庄市、村山市、小国町、三川町）で測定しています。